

## 高校生との意見交換会 報告書

学 校 名	県立但馬農業高等学校		
年 月 日	令和元年 10 月 21 日 (月)	会 場 名	県立但馬農業高等学校
開始時間	15 時 46 分	終了時間	16 時 43 分
参 加 数	生徒 5 人 (男性 1 人女性 4 人)	教 諭 1 人	合 計 6 人
班 長	田村 和也	司 会 者	田村 和也
報 告 者	全員	書 記	田村 和也
班 員 名	田村和也、西田雄一、田路之雄、津崎和男、政次 悟		
	学 生	対 応	
意 見 交 換	<p><b>テーマ① 若者が住みたい、住みやすいまちにするには。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもが住みやすいまちが、若者が住みやすいまちと思う。親との同居で子どもを預けて、安心して働ける環境が必要。</li> <li>○子育て世代が住める場所を整備しては。</li> <li>○大学に進学すればその地で就職につながる。八鹿にも大学があればいいと思う。</li> <li>○通学路の除雪ができていない。除雪の環境整備をしてほしい。</li> <li>○都会にいる農業志望の 20 代・30 代が養父市で営農できる環境づくりが必要。空き家を改修して賃貸で貸すとか、農地の支援、農業育成の支援、学校の開設等、夢をかなえられる環境を整備しては。</li> </ul> <p><b>テーマ② 若者のUターンに何が必要か。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都会の便利な環境を経験した後のUターンは難しい。地元に対して愛着や夢がないと便利な都会から戻ってくることは難しい。I ターンを考える人を狙った制度などはどうか。</li> <li>○Uターンに必要なものがあるわけではない。農家が多いし、家畜市場がある所は誇れると思う。但馬牛の本場美方郡に隣接しており、養父市の畜産も活性化している。その波に乗りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内の子どもは 15 歳まで医療費は無料。こども園の保育料も他市より優遇している。高校生通学補助もある。将来はぜひ養父市で子育てしてほしい。</li> <li>○親子で住める環境づくり、発想が成功につながる施策、大学を出ても戻ってこられる環境づくりなど、議会から市へみなさんの意見を伝えたい。</li> <li>○但馬牛が佳境をむかえている。全国平均より高く売れている。但馬牛は全国的なブランドであり、養父市はさらに発信せねばならない。</li> </ul>	

	学 生	対 応
意見交換	<p>○地域活性化に取り組む先輩が「島には人が来るが、お金を落とす仕組みが無かった。仕組みを作ったら人が集まり、人口が増えている」と話していた。養父市もお金の落ちる仕組みを作っては。朝倉山椒や八鹿豚があるがまだまだ知られていない。多くの人に知られるブランドを作っては。</p> <p>○バスで通学の際、やさしく声をかけられ、八鹿の人柄は良いと感じる。八鹿の良いところを全面的にPRすれば他からも人が来てくれる。</p> <p>○竹中平蔵氏の授業を受けた。「発想が大事」「発想を楽しめ」と言われたが、「発想を楽しむ」のは苦しむことと思う。発想がないからこそ今の状況にあるのであって、今は正直どうしてよいかわからない。スマホや機械など若者の得意分野を生かして養父市を全国に広げていくことが良い。</p> <p><b>テーマ③ その他</b></p> <p>○将来和牛農家になりたいが、農家の方の話を聞く機会がない。畜産女子会と話せる機会を設けてほしい。</p> <p>○耕作放棄地にダチョウ牧場を開きたいが、野生動物の影響で卵を産まなかったらしい。野生動物対策が必要である。</p>	<p>○八鹿駅ロータリーの花壇を但馬農高生が作ってくれた。これも地域づくりである。この話題が今では大きなポスターになっている。小さな取組から輪が広がる。アイデアがあれば市に相談してほしい。</p> <p>○地球の人口は7千万人ずつ増えている。将来日本は海外から食料を買えない時代が来る。日本の農業を支えるつもりで頑張してほしい。</p> <p>○女性農業士のグループがあるので、紹介できる。</p>
その他	<p><b>まとめ・その他感想</b></p> <p>○養父市に住んでいても知らないことが多かった。知らないことを聞いて良かった。</p> <p>○議員と話す機会が持てて良かった。</p> <p>○高校生なのに議員に自分の意見を言うことができた。いい機会となった。</p> <p>○来年度以降も後輩のために、議員との意見交換会をお願いしたい。</p> <p>○高校生にとって貴重な経験となった。議員、高校生の双方にとって、ステップの機会になればうれしい（教諭）</p>	

備考	なし	

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和元年 11 月 15 日

報告者            班長            田村 和也 